

市原社協の会員会費制度について

- 住民会員（1世帯あたり200円）
町会（自治会）長を通じて、皆さまにご協力いただいています。
- 法人会員（1口10,000円）
社協事業にご賛同いただける企業・法人等の皆さまにご協力いただいています。
- 団体会員（1口5,000円）
市内の福祉施設や団体からご協力いただいています。
- 個人会員（1口1,000円）
社協事業にご賛同いただける個人の皆さまからご協力いただいています。

市原市社会福祉協議会は、地域住民の皆さまにご参画いただき、「誰もが安心して地域で暮らせる福祉のまちづくり」を目指して、様々な地域福祉活動を推進しており、地域住民の皆さまをはじめ、市内の福祉施設や法人の皆さまからいただく会費が大切な財源となっております。



市原市社会福祉協議会

一人ひとりを尊重し、共に支え合い、 みんなで創る私たちのまち

○みんなで支え合い
助け合える地域づくり
住民参加・住民主体による地域福祉活動を支援し、同じ地域に暮らす住民同士のつながりをさらに深め、地域全体で支え合い、助け合うことができる
「地域づくり」を推進します

○みんなの生活を支える
ための体制づくり
地域における生活課題が複雑・多様化する中で、公的制度やサービスだけでは対応できない課題の解決に向け、地域住民の日常生活を支えるための
「生活支援」活動を推進します

市原社協マスコットキャラクター
「よつばちゃん」



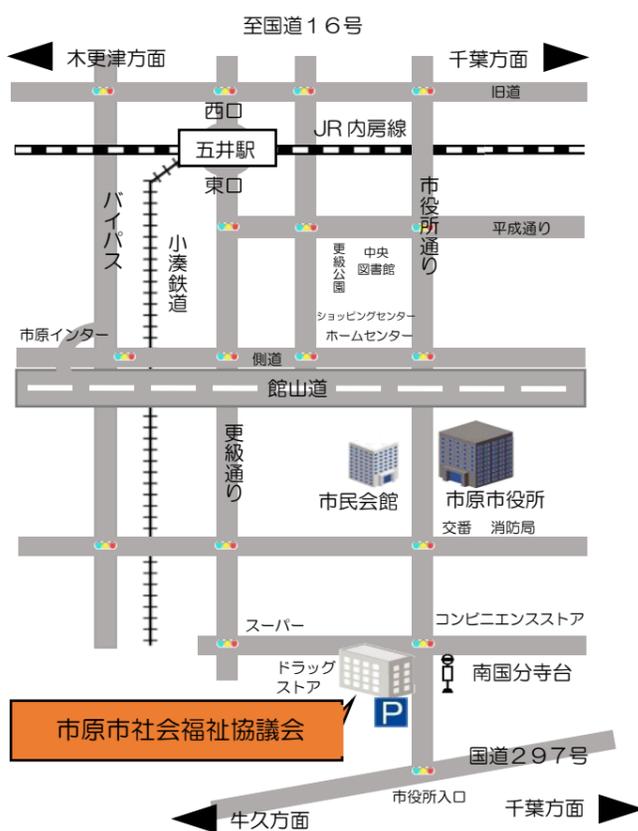
しあわせの四つ葉のクローバーをモチーフに生まれました。風によって優しいしあわせを運びます。

○みんなの顔が
つながる仕組みづくり
地域力をより一層高めるために、小域・中域・基本福祉圏間の連携・協働体制を強化するとともに、地域福祉に関わる関係機関・団体との顔の見える
「連携づくり」を推進します

○みんなで取り組む
ための基盤づくり
生涯を通じた福祉教育の展開や地域福祉を支える人材の養成、地域福祉推進の中心的な役割を担う市社協の基盤強化など、地域福祉を推進するための
「基盤づくり」を推進します

市原市社会福祉協議会は、「一人ひとりを尊重し、共に支え合い、みんなで創る私たちのまち」を基本理念とし、上記の4つの基本目標を掲げ、市民の皆さまや各種団体の皆さまとともに、地域に密着した福祉活動を展開していきます。

案内図



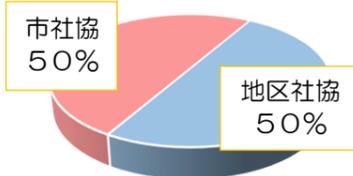
社会福祉法人
市原市社会福祉協議会
〒290-0075 市原市南国分寺台 4-1-4
電話 0436-24-0011 (代表)
0436-20-3100 (ホラソティセクター)
0436-20-8585 (介護保険)
FAX 0436-22-3031
URL <http://www.ichihara-shakyo.or.jp>
e-mail info@ichihara-shakyo.or.jp

住民会費		【令和元年度会費実績】	
地区名	金額(円)	種別	金額(円)
姉崎	1,362,800	法人会費	295,000
五井	2,018,400	団体会費	323,000
国分寺台	675,350	個人会費	142,000
市原	2,278,500	計	760,000
辰巳台	550,800		
市津	766,200		
三和	921,800		
南総	1,399,800		
加茂	311,600		
有秋	964,800		
ちはら台	1,366,200		
計	12,616,250		

皆さまからご協力いただいた会費は、市社協及び地区社協の事業費として配分されます。

住民会費：12,616,250円

- 【配分内容】
- ・前年度実績の50%を地区社協へ配分
 - ・地区社協配分残額を市社協の運営・事業費へ配分



法人会費
295,000円

個人及び団体会費
465,000円

- 【配分内容】
- ・市社協の運営・事業費へ配分



市原社協の事業については中面をご覧ください

市原市社会福祉協議会で実施している主な事業



ご協力いただいた会費はこれらの事業に活用させていただきます

権利擁護事業

○福祉サービス利用援助事業 令和2年度予算：5,984,000円

日常生活を送るうえで、十分な判断ができない、体の自由がきかない等の不安をお持な方に福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理をお手伝いし、地域で安心して生活できるように支援をします。

令和元年度実績：利用者数 731名
利用回数 1,013名



○成年後見制度支援事業

◆成年後見制度相談事業 令和元年度実績：後見相談件数 78名
職員が後見制度のついでに相談や申立て書類作成など相談に応じます。法律的な相談が必要な場合は、弁護士（月1回）がご相談に応じます。

◆法人後見受任事業

社協が法人後見人として受任をし、法律적으로ご本人の権利、財産を守ります。



総合相談 生活支援事業

令和2年度予算
1,340,000円

生活上の相談に対し、より身近な範囲で気軽に相談できる場や機会を提供し、適切な助言・指導・コーディネートにより活用できるサービスへ結びつけ、問題解決の手助けをする「総合相談・生活支援センター事業」や、緊急に生活費及び医療費を必要とする方に対し貸付する「福祉資金貸付事業」、低所得の方が、不測の事態により緊急に援護が必要になった場合に、応急生活費や医療費の一部を交付する応急法外援護費に充てています。

令和元年度実績
初回相談件数 878件
貸付件数 162件

相談 貸付



ボランティア



ボランティアに関する相談や活動の支援、ボランティア保険の加入手続き、災害時における災害ボランティアセンターの設置運営等を行います。

令和元年度実績：相談件数 247件
団体登録数 195団体
個人登録数 160名

福祉教育出前講座



児童・生徒に対する福祉教育、地域の福祉力を高めるための福祉教育、生涯学習としての福祉教育を推進します。

令和元年度実績：20会場で実施

福祉教育

活動支援

災害 VC 市津サテライト



災害ボランティア活動



災害 VC 実績

ボランティア受付：1,772名
ニーズ受付件数：1,145件
マッチング件数：617件
ボランティア派遣件数：2,676名



子育て支援事業

安心して仕事と育児を両立できるように、学校・保育施設開始前後の預りや送迎を行う「ファミリー・サポート・センター事業」や、出産前後の不安定な時期に家事のお手伝いや育児支援を行う「出産前後等家事サポート事業」等、子育てのサポートを行います。

令和2年度予算
7,878,000円



ファミサポ

家事サポ



育児支援

令和元年度実績
相談件数 167件
延利用回数 752件



皆さまの思いが
地域の力になっていきます！

広報

福祉に関する情報提供や地域での様々な活動を広報紙やホームページ、SNSで発信しています。

広報紙（年4回）



ホームページ



Twitter



Facebook



情報
提供

令和2年度予算：3,072,000円

令和元年度実績：354,700部発行
災害 VC 号外：13,000部発行

地区社会福祉協議会



○ふれあいサロン事業

子育て中の方や高齢者等に対して、地域住民やボランティアの参画を得て、ふれあいの場や仲間づくりの場を提供し、地域の中で誰もが安心して暮らせるよう、市内各地区においてふれあいサロン事業を開催しています。

子育てサロン

市内 16 会場、
年間 266 回開催され、
延べ 4818 名の親子が
参加しています。



いきいきサロン

市内 48 会場、年間 455 回
開催され、延べ 11,730 名
の方が参加しています。

はつらつサロン

市内 2 会場、年間 13 回
開催され、延べ 202 名
の方が参加しています。



市内の各地区において、11の地区社協、44（46小学校区）の小域福祉ネットワークが、それぞれ地域特性を活かした事業を展開しています。



住民参加型在宅福祉サービス



日常生活支援事業



世代間交流事業



人材育成事業



災害支援ボランティア事業



地域食堂

地域活動



子ども見守り活動



推進会議

地域で安心して暮らせるように、一人暮らし高齢者世帯や児童の登下校時の見守り活動等を行っています。



安心生活見守り支援事業

令和元年度実績

38 小学校区
利用者数 1,189 名
訪問員数 1,353 名

小域福祉ネットワーク

